

平成31年度 学校経営・運営ビジョン

須賀川市立阿武隈小学校

教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる主体的で創造性豊かな児童の育成をめざす

総合的で調和のとれた教育の展開

- 目標達成を目指し、全職員が丸となり総合的で調和(体・知・心)のとれた教育活動を展開します。
- 評価・反省を生かして、よりよい教育を提供します。
- 家庭・地域の協力を得て、安全・安心の環境のもと、連携を深めて子どもたちに生きる力を育てます。
- **小中一貫教育を進めます。(学習面・生徒指導面・保健安全面)**
- 教職員の資質・能力向上に努めます。

開かれた学校づくり・評価計画等

- 学校経営及び学年・学級経営について保護者に説明をして理解を図ります。
- ホームページ、一斉メール、便り等による情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進します。
- 校内の評価・反省とともに、子ども・保護者による学校評価を実施し、結果を保護者に公表します。
- 学校評議員に学校経営に関する諮問をします。

あかるく元気な子ども を育てます

- 1 元気に登校し、楽しく仲良く安全に生活できる子どもにします。
- 2 運動能力、体力の向上をめざし、積極的に取り組むことができる子どもにします。

元気に登校し、楽しく仲良く安全に生活できるこどもにします。

- ① 元気で、明るく温かいあいさつの励行
 - 児童アンケートの「進んであいさつをする」項目を80%以上にします。
 - 元気にあいさつをさせるためにあらゆる機会を通して指導します。
- ② 自らの生命と健康を守る児童の育成
 - 学校内の重大事故ゼロをめざします。
 - う歯治療率の前年度比5%の向上をめざします。
- ③ 安全・健康教育の充実(安全教育・保健教育・食育、放射線教育等)
 - 交通事故ゼロをめざします。
 - 食育授業および放射線教育授業を計画通りに行います。
- ④ 安全・安心な教育環境の確保
 - 安全点検の結果を速やかに報告・改善します。
 - 施設不備による重大事故ゼロをめざします。

運動能力、体力の向上をめざし、積極的に取り組むことができる子どもにします。

- ① 体力向上推進計画に基づいた実践
 - 体育の授業を充実させます。(学習カードの活用等)
 - 体力テストで県および全国平均に近づけます。
- ② 運動身体づくりプログラムの計画的・継続的な実践
 - 授業の始めに取り入れます。
 - 運動身体づくりプログラムの研修に参加し、伝達講習会を行います。

すすんで学ぶ子ども を育てます

- 1 学習の仕方、学習習慣を身に付け、自主学習ができる子どもにします。
- 2 読書に積極的に取り組むことができる子どもにします。

学習の仕方、学習習慣を身に付け、自主学習ができる子どもにします。

- ① わかる・できる授業をめざす
 - ねらいとまとめを板書し、1時間を振り返ります。
 - 児童同士が話し合う時間を授業の中に取り入れます。
 - 活用の学びを計画的に取り入れます。
- ② 学力向上グランドデザイン「あぶ小プラン」の継続的な取り組み
 - 「あぶ小プラン」を活用した授業研究を教員全員が行います。
 - 朝の学力向上および読書タイムを毎日実施します。
- ③ 「家庭学習の手引き」の活用による家庭学習の習慣化
 - 保護者アンケートで「家庭学習をしている」の項目を85%以上にします。
 - 10分×学年+10分の家庭学習をさせるよう指導します。(児童アンケート)
- ④ 特別支援教育の充実(個別支援計画の作成・累積及び個に応じた指導の充実)
 - 須賀川支援学校との連携を強化します。
 - 通常学級で支援が必要な児童の個別支援計画を作成し、活用します。

読書に積極的に取り組むことができる子どもにします。

- ① 朝の読書タイム、読書交流会の活用・充実
 - 図書部を中心として読書タイムおよび読書交流会を充実させます。
 - 年間読書冊数(低学年100冊・中学年50冊・高学年30冊)を達成させます。

力を合わせやりぬく子ども を育てます

- 1 自他を大切にし、互いに協力し合い、最後までやりぬくことができる子どもにします。
- 2 自主自立をめざすことができる子どもにします。

自他を大切にし、互いに協力し合い、最後までやりぬくことができる子どもにします。

- ① 互いの人権を尊重し合う児童の育成
 - 保護者アンケートで「思いやりの心を育てようとしている」項目を95%以上にします。
 - 人権教育全体計画にしたがって各教科・道徳・特別活動等で人権教育を意識した授業を行います。
- ② 一人一人を大切にする(互いの人権を尊重し合う)学校、学級づくりの推進
 - 児童アンケートで「学校は楽しい」項目を95%以上にします。
 - 児童いじめアンケートを年間3回実施し速やかに対応します。
- ③ 重点内容を中心とした道徳教育の充実(「生命の尊重」「思いやり・親切」「公共心・公德心・規則の尊重」等)
 - 35時間の特別の教科 道徳の授業を充実させ、別業を活用します。
 - 授業参観で、年間1回特別の教科 道徳の授業を保護者に公開します。

自主自立をめざすことができる子どもにします。

- ① 自ら考え、判断し、誠実に実行しようとする児童の育成
 - 特別活動の充実および縦割り班活動を推進します。
 - 年間1回以上児童の企画による集会活動を学級で行います。
- ② 「ふるさと学習」の推進
 - 総合的な学習の時間を充実し、調べたことを発表する場を確保します。
 - ムシテックワールドでの学習を低・中・高学年で行います。

教職員の資質・指導力の向上

学校評価による校務運営

地域とともにある学校

健やかな体の育成

- 体力・運動能力向上策の推進
- 保健教育と安全教育の充実

確かな学力の育成

- 目指す学力の明確化と授業改善
- 学びの基盤づくり

豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- 組織的・体系的な生徒指導

小・中一貫教育須賀川モデルの推進

- 発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進
- 中学校区ごとの課題の明確化と連携事業の展開
- 「就学前教育カリキュラム」「須賀川スタンダードカリキュラム」の自校化
- 小中一貫教育グランドデザインの具現

平成31年度須賀川市教育委員会学校教育の重点

一人ひとりの個性が輝き、生きぬく力を育む学校教育の推進

ひらく つなぐ みえる